

# 技術センター報告集の発行のあゆみ

2013(平成25)年度技術センター報告集編集WG  
委員長(技術主任) 三原 修

広島大学技術センターでは、2004(平成16)年の設立当初より、所属する職員の活動(業務およびその成果など)を学内外に広報する目的で、毎年「技術センター報告集」を発行しており、本号をもってちょうど「第10号」の節目を迎えました。

そこで、当センター報告集のこれまでの発行のあゆみについて、簡単に紹介させていただきます。

過去に発行された報告集の各号における表紙の一覧を次頁の図に示していますが、報告集編集にあたっては、表紙のデザインその他、編集体制などの変化も含めてこれまで幾度かの変遷がありました。

「第1号」から「第7号」までの各報告集では毎年「報告集編集委員会」が組織され、委員長・副委員長も含め編集委員が1年ごとに交代する形で当センター各部門の職員の中から選出されて、原稿の校正をはじめとする編集作業を行っていました。この編集作業は日常業務の合間に進める必要がある上に、効率的に作業を進めるためにはそれなりの工夫が求められます。そのような経緯もあって、「第8号」以降は現在まで、「第6号」の委員長であった私と「第7号」の畠山照彦委員長でそれぞれ委員長と副委員長を務めることになり、さらに、その他の委員が各部門より1名ずつ選出され、編集組織も柔軟な対応が可能な「報告集編集WG」になりました。

報告集の掲載項目については、各年度の編集委員会(→WG)での協議により決定してきましたが、毎年開催される当センターの研修会報告は、主要項目として報告集に毎年掲載しています。この研修会報告では、基調講演でご講演頂いた先生の了承の下にその講演資料を収録させて頂くと同時に、当センター職員による技術発表(口頭発表など)の内容を「原稿」として作成し、提供してもらっています。その他、学外研修報告(資格取得関連報告も含む)や学内講習会等報告、原著・学会発表リストなどを毎年掲載しており、当センター職員の活動について幅広く広報しております。

また、過去の報告集では、当センター職員により自主的に投稿された技術報告や特集記事なども掲載されてきました。職員自身の業務の様子やその成果などを情報発信し、広く理解して頂くためにも、これらの項目への積極的な投稿が期待されることです。このことは、発行方法や編集方針の見直しも含め、次年度(次号)以降のWGでの課題になりますが、これまで以上に充実した報告集の発行につながることを願っています。

なお、今日まで本報告集の発行を継続できたことは、歴代委員長(「第1号」の輝平盛重委員長、「第2号」の濁川清美委員長、「第3号」の木庭亮二委員長、「第4号」の木野村愛子委員長、「第5号」の石飛義明委員長)をはじめ、過去に携わった編集委員ならびに関係の皆様の方の尽力の賜物であり、ここに改めて謝意を表します。

過去の報告集はいずれも、当センターホームページ(<http://techc.hiroshima-u.ac.jp/>)に、「刊行物」としてそのPDFファイルをダウンロードできるようにしておりますので、是非御覧下さい。

※ 「第10号」(本号)につきましては、写真・図表のフルカラー版PDFファイルを掲載しています。



第1号



第2号



第3号



第4号



第5号



第6号



第7号



第8号



第9号

図. 過去に発行された広島大学技術センター報告集の表紙一覧